

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(50歳代女性)あり、血清型はO103です。本年の累積報告数は24例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(60歳代男性)あり、症状は粘血便です。本年の累積報告数は21例となっています。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(70歳代男性, 80歳代男性)あります。本年の累積報告数は29例となっています。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(10歳未満男性, 90歳代女性)あり、本年の累積報告数は36例となっています。5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症しており、ワクチンによる予防が重要となります。なお、平成26年10月から高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの予防接種が定期接種となりました。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期的予防接種について
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- 梅毒の報告が1例(40歳代男性)あります。症状は硬性下疳及び鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)で、推定感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は27例となっています。

◆ 今週のトピックス: <感染性胃腸炎>

- 京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は7.71(316例)となり、過去5年平均値を上回る状況が続いています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 24例】
- 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 21例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 29例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 36例】
- 五類:梅毒(早期顕症梅毒) 1例【1月以降の累積報告数 27例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.09	6
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.71	316
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.66	68
	③ RSウイルス感染症	0.93	38
	④ 突発性発しん	0.44	18
	④ 流行性耳下腺炎	0.44	18
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

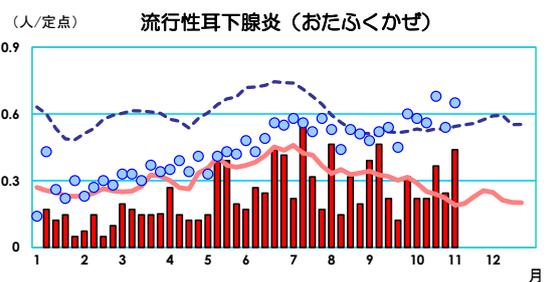
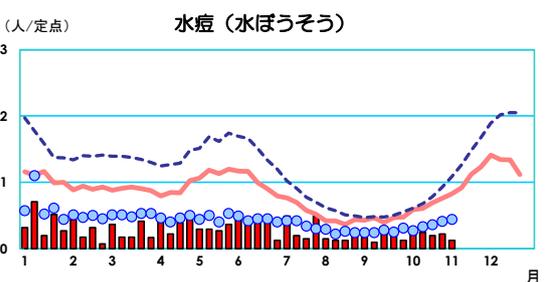
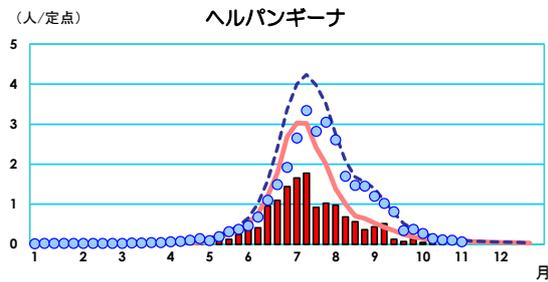
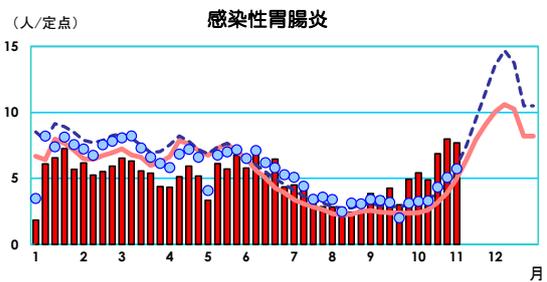
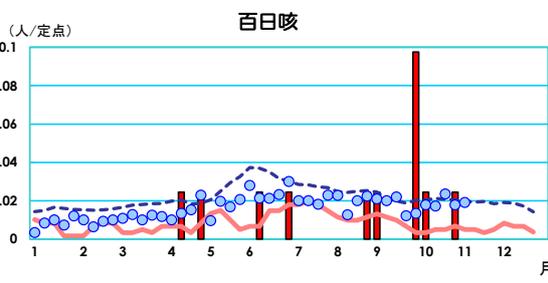
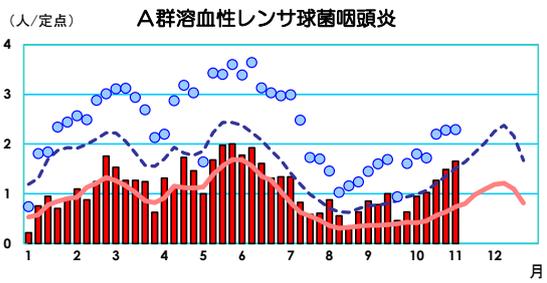
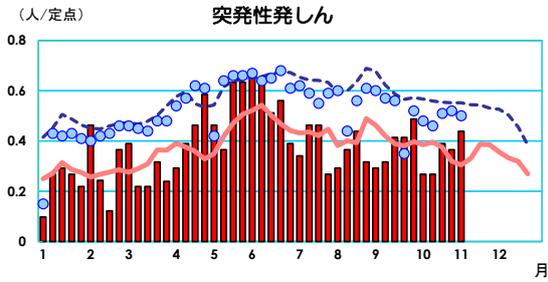
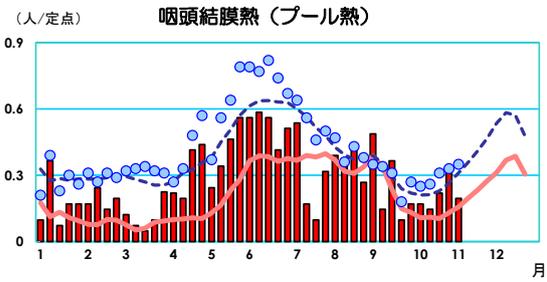
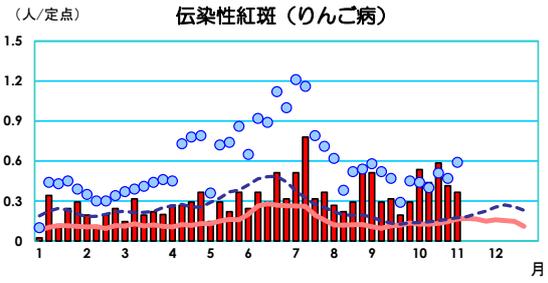
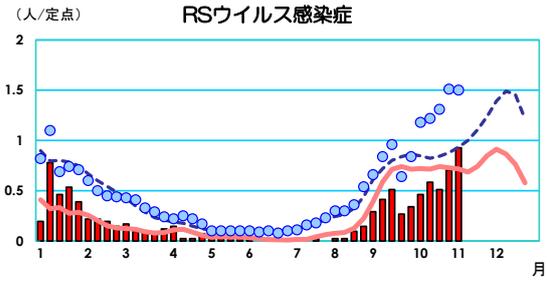
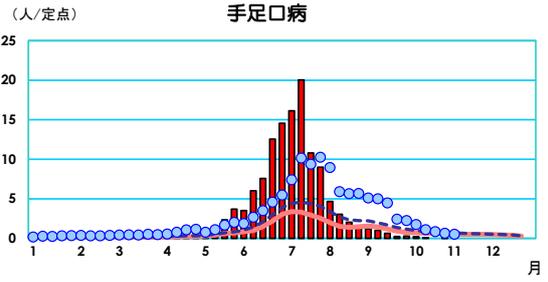
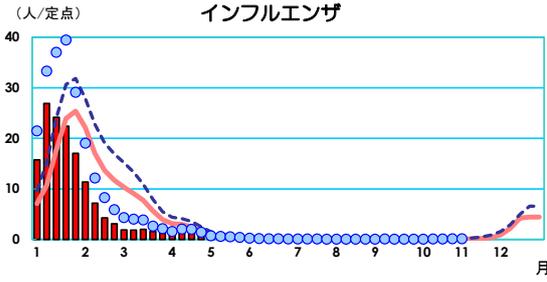
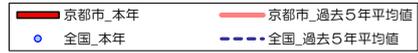
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <感染性胃腸炎>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成27年11月12日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルザ[®] 及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第45週(11月2日～11月8日)トピックス: <感染性胃腸炎>

京都市及び全国の発生動向

京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は7.71(316例)となり、過去5年平均値を上回る状況が続いています(図1)。年次別に最近5年間で比較すると、第36週から第44週にかけて最も多い報告数となっており、第45週は平成24年に次ぐ報告数となっています(図2)。全国の定点当たり報告数は前週5.08から5.72に増加し、34都道府県で前週から報告数が増加しています(図3)。今後さらに増加が予想されるので、今後の発生動向に注意が必要です。

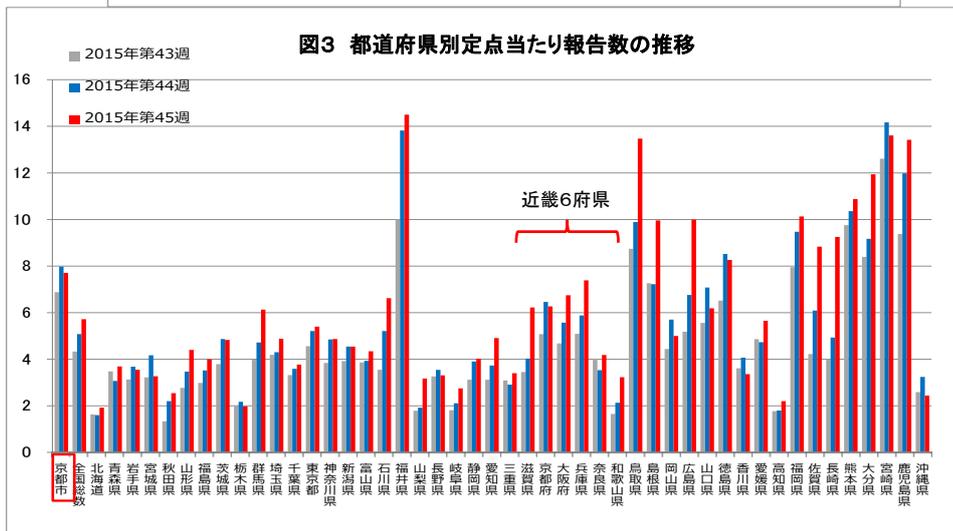
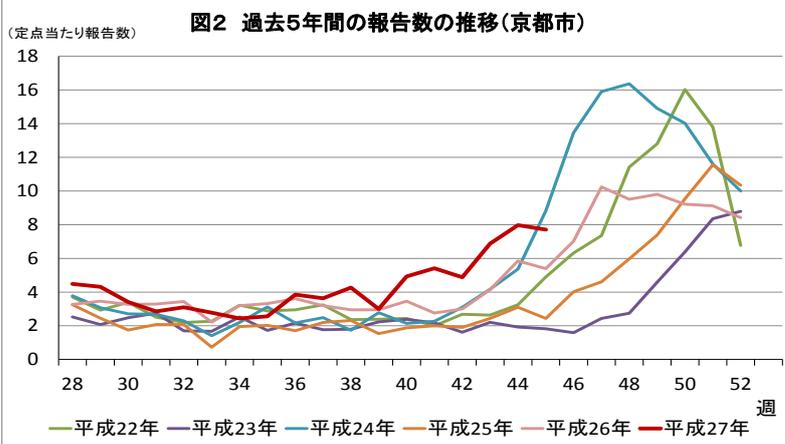
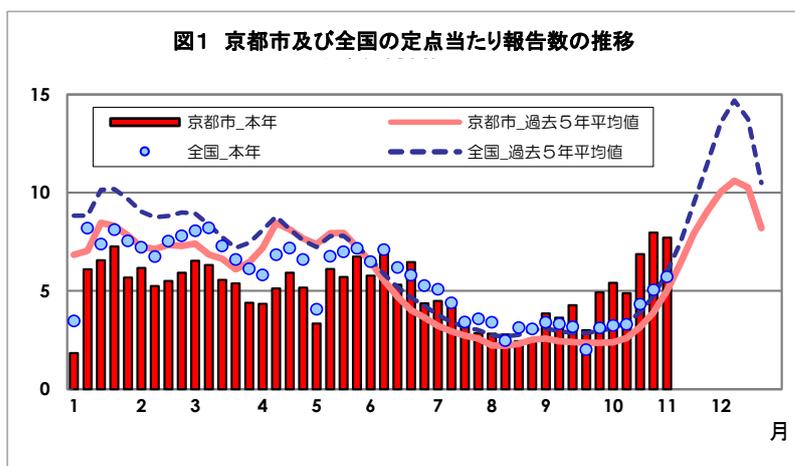
症状

感染性胃腸炎は、細菌またはウイルスなどの病原体による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。例年、患者報告数のピークは12月頃であり、この時期の感染性胃腸炎の多くはノロウイルスが主な原因と考えられます。厚生労働省によると、今シーズンに感染性胃腸炎の原因となるノロウイルスは、これまでの遺伝子型GⅡ.4に替わってGⅡ.17が流行の主体となる見通しで、流行が拡大する可能性があるとしています。

ノロウイルス感染症の潜伏期間は1～2日で、主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛です。体力の弱い乳幼児、高齢者は脱水症状を起こしたり、体力を消耗しないように水分と栄養の十分な補給が必要になります。

予防

流水・石けんによる手洗いの励行と吐物・下痢便の適切な処理が大切です。調理や食事の前、トイレの後、下痢等の患者の汚物処理を行った後には必ず手洗いを行いましょう。患者の吐物や下痢便を処理するときは、使い捨てのエプロン、マスク、手袋を着用しペーパータオルで静かにふき取り、使用後はビニール袋に密閉して廃棄しましょう。



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第45週

疾病,行政区別報告数

平成27年11月2日～平成27年11月8日

データ入手日:平成27年11月12日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	1	-	6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
上京	2	2	2	5	7	-	-	2	1	-	-	1	-	-						
左京	-	6	-	7	59	1	-	3	2	-	-	1	-	-						
中京	1	7	-	1	23	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3	6	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	3	-	11	4	-	-	-	1	-	-	-	-	4						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
南	-	-	-	3	24	1	-	1	5	-	-	1								
右京	-	8	2	6	78	1	-	3	4	-	-	-	-	2						
伏見	-	5	4	20	51	2	-	3	3	-	-	11	-	-						
西京	-	-	-	9	51	-	-	2	-	-	-	2	-	-						
京都市計	6	38	8	68	316	5	-	15	18	-	-	18	-	6	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	0.25	-	1.50	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-						
上京	0.40	0.67	0.67	1.67	2.33	-	-	0.67	0.33	-	-	0.33	-	-						
左京	-	1.50	-	1.75	14.75	0.25	-	0.75	0.50	-	-	0.25	-	-						
中京	0.20	2.33	-	0.33	7.67	-	-	0.33	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1.00	3.00	-	-	9.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	0.75	-	2.75	1.00	-	-	-	0.25	-	-	-	-	4.00						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50								
南	-	-	-	1.00	8.00	0.33	-	0.33	1.67	-	-	0.33								
右京	-	1.60	0.40	1.20	15.60	0.20	-	0.60	0.80	-	-	-	-	2.00						
伏見	-	0.71	0.57	2.86	7.29	0.29	-	0.43	0.43	-	-	1.57	-	-						
西京	-	-	-	2.25	12.75	-	-	0.50	-	-	-	0.50	-	-						
京都市計	0.09	0.93	0.20	1.66	7.71	0.12	-	0.37	0.44	-	-	0.44	-	0.60	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第45週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年11月2日～平成27年11月8日

データ入手日:平成27年11月12日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症		38	10	8	13	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		8	-	-	4	1	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		68	-	-	2	4	2	8	11	12	9	3	2	9	1	5	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		316	2	23	66	57	26	25	13	15	20	11	10	13	7	28	-	-	-	-	-	-
水痘		5	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		15	-	-	-	-	-	4	-	-	7	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		18	1	7	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		18	-	-	1	-	2	3	3	2	2	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		6	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	2	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04	0.03	0.01	-	-	-	-
RSウイルス感染症		0.93	0.24	0.20	0.32	0.10	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.20	-	-	0.10	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.66	-	-	0.05	0.10	0.05	0.20	0.27	0.29	0.22	0.07	0.05	0.22	0.02	0.12	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		7.71	0.05	0.56	1.61	1.39	0.63	0.61	0.32	0.37	0.49	0.27	0.24	0.32	0.17	0.68	-	-	-	-	-	-
水痘		0.12	-	-	-	0.05	-	-	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.37	-	-	-	-	0.10	-	-	-	0.17	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.44	0.02	0.17	0.20	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.44	-	-	0.02	-	0.05	0.07	0.07	0.05	0.05	0.05	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.60	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	0.30	-	-	0.20	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第45週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年11月12日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	4	1	2	1	1	6
RSウイルス感染症	14	19	24	21	29	38
咽頭結膜熱	7	7	6	9	14	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	39	42	52	61	68
感染性胃腸炎	202	222	200	282	327	316
水痘	5	11	10	8	9	5
手足口病	12	9	4	-	2	-
伝染性紅斑	12	22	18	24	17	15
突発性発しん	20	11	11	16	15	18
百日咳	4	1	-	-	1	-
ヘルパンギーナ	5	2	2	2	-	-
流行性耳下腺炎	13	9	9	15	10	18
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	3	8	-	4	6
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	1	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	329	357	336	430	490	498

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.06	0.01	0.03	0.01	0.01	0.09
RSウイルス感染症	0.34	0.46	0.59	0.51	0.71	0.93
咽頭結膜熱	0.17	0.17	0.15	0.22	0.34	0.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.63	0.95	1.02	1.27	1.49	1.66
感染性胃腸炎	4.93	5.41	4.88	6.88	7.98	7.71
水痘	0.12	0.27	0.24	0.20	0.22	0.12
手足口病	0.29	0.22	0.10	-	0.05	-
伝染性紅斑	0.29	0.54	0.44	0.59	0.41	0.37
突発性発しん	0.49	0.27	0.27	0.39	0.37	0.44
百日咳	0.10	0.02	-	-	0.02	-
ヘルパンギーナ	0.12	0.05	0.05	0.05	-	-
流行性耳下腺炎	0.32	0.22	0.22	0.37	0.24	0.44
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.30	0.80	-	0.40	0.60
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	8.36	9.90	8.78	10.48	12.24	12.54

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。